秋の日の出会いと別れ ー離任式・着任式ー

ちょうど九月の体育祭を区切りに、長工を離任されることとなった養護の櫻井紘子先生と体育科の下田雄佑先生。そして新たに十月から、しおかぜ総文祭と北部九州インターハイの推進室から長工にお見えになった養護の山口法子先生、体育科の松尾善久先生。それぞれお話を伺いました。

離任された 櫻井先生、下田先生

櫻井先生と下田先生に離任式の前後に次のような質問をしながらお話を伺ってみました。

①今の気持ち。
②長工で一番の思い出。
③長工で好きな場所。
④長工を色で例えると。
⑤好きな食べ物。
⑥長工生に一言。

◆桜井先生

①卒業式までいたかった。
②競技大会で怪我人が、たくさん来たこと。
③保健室。
④ピンク一皆可愛かったから。
⑤焼肉。
⑥高校時代よりも、社会に出てからの方が楽しいので、楽しみにしていてください。

◆下田先生

①皆と親しくなってきたのに、別れることになって寂しい。
②保健・体育の授業。
③教官室。
④緑ー緞帳が緑だから。
⑤ハンバーグ。
⑥夢は逃げない。逃げるのはいつも自分だ。

インタビュー中、お二人とも寂しそうにされていて、櫻井先生の目からはぽろぽろと涙が…。六ヶ月という短い間でしたが、今までありがとうございました。

着任された 山口先生、松尾先生

新しく着任された松尾先生と山口先生には長工生の印象などをインタビュー。

◆松尾善久先生

ー長工生が思ったよりも大人しかった。今年、初めて長工の体育祭の集団演技を見たが、短期間であれだけ素晴らしいものが出来てすごいと思ったー

ちなみに「松尾よし先生、ぜん先生と呼んでほしい」とおっしゃっていた松尾先生はラグビー部顧問。部員&マネージャー（男子）募集中です。

◆山口法子先生

ー私はしおかぜ総文祭の推進室から来ました。総文祭では会場での保健管理担当で、役員の生徒がよく働いてくれたので、とても助かりましたー

そして「長工に初めて来たときは、生徒の多さに驚きました」と話された山口先生。

お二人の先生方、これからどうぞよろしくお願いします。

保健室の癒し櫻井先生▶

▼いつもニコニコ下田先生

▼山口先生はじめまして

▼松尾先生こんにちは！

▼笑顔の山冨さん

つかんだ九州への切符 溶接大会 長崎 目指すは全国

九月二十二日に佐世保高技専で九十二名の高校生が参加し、第六回長崎県高校生溶接技術競技会が開催されました。長工からの参加は男子十五名、女子三名の計十八名。当日は朝六時から練習を行い、「とにかくいつも通りがんばる」「出るからには一つでも上の順位を狙う」と気合十分に試合前の抱負を語る選手達。

移動のバスの中の和やかな雰囲気と打って変わって競技中の選手が醸し出す雰囲気は真剣そのもの。溶接ブースの中で鉄板と向き合い作業に集中する選手達。完成した作品が会場に並べられると皆、集まって講評し合っていました。

溶接競技は曲げ試験の結果が分かるまで時間がかかります。今回の成績発表は体育祭後でした。

結果は団体で長工は二位。個人で被覆アーク溶接N-2F部門でP2坂本拓史くんとI2山冨奏子さんの二人が同点で三位。この二人は九州大会に出場します。「今年から全国大会が始まるので、全国に進めるようにします」（坂本）「努力が実ってよかった。全国大会に進み優勝旗に名前を刻む！長工が一、二位を独占します」（山冨）と意気込みを語ってくれた二人。

今月の二十六、二十七日に行われる九州大会での活躍が楽しみです。

▼真剣な眼差し。坂本君

▲全員で集合写真!!

▼快く答える伊藤先生

セーリング競技 国体リハーサル大会 塩釜高校との交流

九月十四日から十六日に長崎サンセットマリーナにて行われた、がんばらんば国体のセーリング競技リハーサル大会。その大会に我が校のヨット部が出場しました。そして以前から長工と交流のある宮城県の塩釜高校ヨット部の姿も。今回のリハーサルでは道具の準備や片付けを一緒に行うなど、協力してリハーサル大会に取り組んでいました。

大会後、塩釜高校ヨット部の顧問、伊藤嘉宣先生に今回のリハーサル大会を含めてお話をうかがいました。

Q今回のリハーサル大会はどうでしたか。

ー満足！大満足。

Q長工と一緒に大会に参加できることについて。

ー毎年争うチームと一緒にできてとても光栄です。

Q長工と今も交流が続いていますね。

ー震災から続いているので感謝している。今の生徒は震災を経験していない子供たちなので、良い影響を与えていると思う。

Q長崎の選手の様子は。

ー素直。思いやり、気配りなどがセーラーとして、人として尊敬できる。ひたむきな姿勢や仲間を思う気持ちから、チームの姿を勉強させてもらった。

Q復興の進み具合は。

ーまだまだ。最近はテレビでも取り上げられなくなったけれど、まだ完全には復興していない。次どうしようかと、前向きに再生へ向けて頑張っているところ。

遠い宮城の地で練習に励む塩釜高校、そして長工ヨット部。本番へ向けて、二校のさらなる活躍を祈っています。

突撃！あなたのお昼ごはん ☆下田先生のお弁当

▲おふくろの味が一番♪

今回は、離任されるということもあり、特別に下田先生自慢の「お母さん手作りお弁当」の取材へ行ってきました。普段はなかなか見ることができない先生のお弁当。この日のメニューは、愛情もおかずも溢れるお弁当でした。下田先生は「お母さん、いつも美味しくいただいています。ありがとう。」と、満面の笑みで話してくれました。

ちなみに、下田先生の好きなおかずは「つぼ鯛のみりん焼き」とのことでご協力ありがとうございました。

シリーズ 溶接1・2・3! 溶接大会編②

▲出来は…!?

場所は変わればやることは同じ。独特の会場の雰囲気と緊張に飲み込まれないよう自分を保つのに必死です。

鉄板の開先を削り、インテリア科の先生に協力頂いた最強のヤスリで鉄板の塗装を剥ぐ黒皮剥ぎを難なく終えるといよいよ溶接作業開始です。さあ、始めるぞ！と、ここで問題発生。電流が合わない。気づけば時間は十五分が経過。上手くいかずに苛立ち、ふと窓の外に目をやると、こちらを見ている新聞部員が！ほけ～とした緊張感のない姿に思わず笑ってしまいました。これで平常心を取り戻すといつも通りの自分の溶接をすることが出来ました。どうにか時間内に鉄板を作り終え一安心です。（甲斐田）

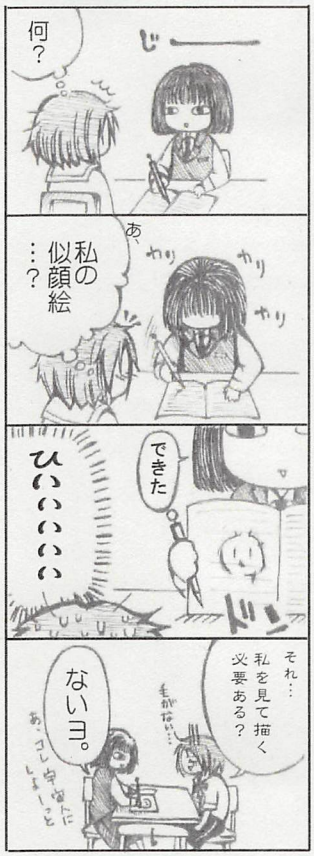
編集後記

無事に体育祭が終わり、一安心。と思っていたら離任式・着任式が行われ、制服も移行期間に。夏が過ぎ去ると共に秋がどんどん押し寄せてきました。季節の変わり目に浸る暇もなく、新聞作成&工業展準備に勤しむ新聞部員。今回の準備はいつ完成するのやら。今も展示作品用の折り紙での薔薇折り続行中です。

似てねぇ！

こふ工生!!!

～げいじゅつ…の秋～



宇宙人にされました。